

議 案 第 6 9 号

令 和 4 年 度

池 田 市 水 道 事 業 会 計 決 算 説 明 書

1. 水道事業決算報告書（決算書P. 1～4）

（1）収益的収入及び支出（P. 1～2）

〔収 入〕

水道事業収益の予算額は、2,363,432,000 円を計上しました。

水道事業収益の決算額は、2,373,321,517 円で、予算額に対し 9,889,517 円の増収となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

営業収益	1,842,553,571 円
（うち、仮受消費税	166,424,421 円）
営業外収益	530,766,715 円
（うち、仮受消費税	15,105,337 円）
特別利益	1,231 円
（うち、仮受消費税	112 円）

〔支 出〕

水道事業費用の予算額は、2,357,434,000 円を計上しました。

水道事業費用の決算額は、2,275,729,301 円で、予算額のうち 81,704,699 円が不用額となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

営業費用	2,091,583,887 円
（うち、仮払消費税	71,280,716 円）
営業外費用	183,365,259 円
（うち、仮払消費税	4,213,200 円）
特別損失	780,155 円

（2）資本的収入及び支出（P. 3～4）

〔収 入〕

資本的収入の予算額は、696,804,000 円を計上しました。

資本的収入の決算額は、537,498,872 円で、予算額に対し 159,305,128 円の減収となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

工事負担金	12,493,503 円
（うち、仮受消費税	78,273 円）
企業債	516,600,000 円
補助金	7,300,000 円

他会計補助金	1,100,000 円
固定資産売却代金	5,369 円
（うち、仮受消費税	488 円）

[支 出]

資本的支出の予算額は、1,756,005,000 円を計上しました。

資本的支出の決算額は、1,591,731,673 円で、予算額のうち 164,273,327 円が不用額となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

建設改良費	122,395,110 円
（うち、仮払消費税	10,935,591 円）
企業債償還金	648,694,563 円
施設整備費	820,642,000 円
（うち、仮払消費税	69,251,186 円）

なお、消費税及び地方消費税納付額は 36,326,600 円で、仮受消費税 181,608,631 円（収益的収入仮受消費税 181,529,870 円と、資本的収入仮受消費税 78,761 円を加えた額）から、控除対象消費税等相当額 145,145,505 円（収益的支出仮払消費税 75,493,916 円と、資本的支出仮払消費税 80,186,777 円及び貯蔵品購入仮払消費税 2,212,865 円の合計額から控除対象外消費税相当額等 12,748,053 円を差し引いた額）及び貸し倒れ等に係る調整額 136,526 円を差し引いた額です。

2. 水道事業損益計算書（決算書 P. 5～6）

当年度の水道事業の経営実績は、次のとおりです。

1. 営業収益 1,676,129,150 円に対し
2. 営業費用 2,020,303,171 円で、差し引き営業損失は 344,174,021 円となりました。
3. これに営業外収益 515,797,904 円を加えた額から
4. 営業外費用 153,861,184 円を差し引いた額 17,762,699 円が、経常利益です。
5. これに特別利益 1,119 円を加えた額から
6. 特別損失 780,155 円を差し引いた額 16,983,663 円が当年度純利益です。前年度繰越利益剰余金は 597,884 円で、17,581,547 円が、当年度未処分利益剰余金です。

３．水道事業剰余金計算書（決算書P. ７～８）

[資本金]

前年度末残高 9,901,328,139 円に、減債積立金取崩額 117,000,000 円を組み入れた額 10,018,328,139 円が、当年度末残高です。

[資本剰余金]

<受贈財産評価額>

前年度末残高 721,670,000 円から変動はありません。

[利益剰余金]

<減債積立金>

前年度、利益剰余金処分額として積み立てた額 117,000,000 円から当年度取り崩した額 117,000,000 円を差し引き、当年度残高は 0 円です。

<未処分利益剰余金>

前年度未処分利益剰余金 117,597,884 円から減債積立金に積み立てた額 117,000,000 円を差し引いた額 597,884 円が繰越利益剰余金年度末残高で、当年度純利益 16,983,663 円を加えた額 17,581,547 円が、当年度未処分利益剰余金です。

４．水道事業剰余金処分計算書（決算書P. ９）

当年度未処分利益剰余金 17,581,547 円について、利益剰余金処分額として減債積立金に 17,000,000 円を積み立て、残額 581,547 円は翌年度繰越利益剰余金とするものです。

５．水道事業貸借対照表（決算書P. 10～11）

令和５年３月３１日現在の水道事業の資産、負債及び資本は、次のとおりです。

[資産の部]

１．固定資産は、

(1) 有形固定資産合計 18,376,774,681 円

(2) 無形固定資産合計 764,363,539 円で

固定資産合計は、19,141,138,220 円（明細は P. 38～39 に記載）です。

2. 流動資産は、

(1) 現金預金 2,877,512,344 円

(2) 未収金 275,056,640 円から貸倒引当金 6,341,210 円を差し引いた額 268,715,430 円

(3) 貯蔵品 26,160,951 円で

流動資産合計は、3,172,388,725 円です。

以上の固定資産と流動資産の合計 22,313,526,945 円が、資産合計です。

[負債の部]

3. 固定負債は、

(1) 企業債 7,973,727,541 円

企業債の内訳は、

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債 7,973,727,541 円(明細は P. 40～43 に記載)

(2) 引当金 321,483,831 円

引当金の内訳は、

イ 退職給付引当金 321,483,831 円で

固定負債合計は、8,295,211,372 円です。

4. 流動負債は、

(1) 企業債 644,036,614 円

企業債の内訳は、

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債 644,036,614 円 (明細は P. 40～43 に記載)

(2) 預り金 66,096,863 円

(3) 未払金 207,949,707 円

(4) 引当金 33,031,125 円

引当金の内訳は、

イ 賞与等引当金 33,031,125 円で

流動負債合計は、951,114,309 円です。

5. 繰延収益は、

(1) 長期前受金 5,780,470,952 円から収益化累計額 3,470,849,374 円を差し引いた
2,309,621,578 円が繰延収益合計です。

以上の固定負債と流動負債及び繰延収益の合計 11,555,947,259 円が、負債合計です。

[資本の部]

6. 資本金は、10,018,328,139 円

7. 剰余金のうち

(1) 資本剰余金は、

イ 受贈財産評価額 721,670,000 円で

資本剰余金合計は、721,670,000 円です。

(2) 利益剰余金は、

イ 当年度未処分利益剰余金 17,581,547 円で、利益剰余金合計は、17,581,547 円です。

剰余金合計の 739,251,547 円は、資本剰余金合計 721,670,000 円に利益剰余金合計 17,581,547 円を加えた額です。

資本合計 10,757,579,686 円は、資本金合計 10,018,328,139 円と剰余金合計 739,251,547 円との合計です。

負債資本合計の 22,313,526,945 円は、負債合計 11,555,947,259 円と資本合計 10,757,579,686 円との合計です。